

## コロラド州：小麦作柄と気象状況

2003年7月29日

2003年7月27日現在：

7月27日に終わる1週間も、乾燥・高温気象続き、州平均農作業日数は6.6日（前週：6.7日）であった。土壌水分は更に減少し、Topsoilでは40%がVery shortと成った（前週はVery shortは31%）。春小麦は急速に登熟し出した。高温・乾燥気象により冬小麦の収穫は一気に早まった。全体の98%が収穫された（昨年同期：100%、5年平均：96%）。早魃であった昨年より単位収量は良い。冬小麦の品質は昨年に比較し、蛋白質は低目であり、容積中は高い傾向である。

7月1日付けUSDAの冬小麦生産量予想では、別表の通り単位収量は35.0 bushel/acreと6月1日予想より2.0 bushels/acre増加した。

土壌水分：2003年7月27日現在

	Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	40	39	21	0
Subsoil (%)	31	44	25	0

冬小麦生育状況：2003年7月27日現在

	This week	Last week	Last year	5-yr Ave.
Harvested (%)	98	85	100	96

Source：コロラド州農業統計局 (Colorado Agricultural Statistics Service)

コロラド州冬小麦作付面積の推移：2003年3月31日付けUSDA発表

	2001 Crop 1000 acres	2002 Crop 1000 acres	2003 Crop 1000 acres	2003/2002 Percent
作付面積	2,350	2,350	2,600	111

2003年7月1日付け農務省冬小麦の生産量予想：

	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				June 1	July 1		
Colorado	1,650	2,200	22.0	33.0	35.0	36,300	77,000

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃：Email [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)